

給湯器リサイクル事業を通じた社会との共生 〜人に笑顔、障害者自立支援プロジェクト〜

良き企業市民として 事業を通じた社会貢献に取り組む

「お風呂は人を幸せにする」を創業の原点に、「お湯と健康 愛とやすらぎ 豊かな暮らしをつくるノーリツ」の企業理念のもと、昨年60周年を迎えた株式会社ノーリツ。「創業60周年を迎え、『お湯を越えていくノーリツグループ』として新中期計画(Vプラン16)をスタートさせたことを契機に、弊社が単独で行っていた様々なCSR活動を1つにまとめ、社外の方々と連携して展開していく活動にするために、3つの笑顔プロジェクトを立ち上げました」と経営企画室参事の
大前 優治さんは話す。



インタビューを受ける大前 優治さん

「新しい幸せを、わかすこと」をグループビジョンとし、「人と地球と暮らしの笑顔」をテーマにスタートした3つのプロジェクト。そのひとつ、人に笑顔プロジェクトは、給湯器リ

サイクルで人を笑顔にするために、福祉施設とタイアップし、障害者の方々がいっしょに笑顔で働ける場所をつくることを目的とした取り組みである。

給湯器リサイクルで「人に笑顔」

平成18年に、元社員が社内ベンチャー事業として、障害者を雇用するための特例子会社※エスコアハーツを設立。社員の名刺印刷や社内広報物などの発送作業、また、使用済み給湯器の分解・分別作業などを行っている。

エスコアハーツは、「離職者がいない」ということから注目を集め、地域の福祉施設から見学に来ることが多々あった。そのつながりで、兵庫県社会福祉事業団小野福祉工場から給湯器リサイクル事業を実施したいというオファーがあり、このリサイクル事業を社会と環境にやさしい事業として広げていくために、分解作業などを行う福祉事業所、使用済み給湯器を提供する事業者、そしてエスコアハーツの三者が連携することとなった。エスコアハーツは福祉事業所への分解ノウハウの提供と納品回収、販売業者からの使用済み給湯器の引き取りを担っている。



使用済み給湯器の分解・分別作業を行う様子

現在では、販売業者47社と小野福祉工場のほか、社会福祉法人加古川はぐるま福祉会、NPO法人たつのGHO、社会福祉法人いずみ野福祉会と連携して事業を行い、就労機会を提供している。福祉事業所でも、新たな職務開発ができたことで、他施設からの見学者が増え、人から見られることで働いている人のモチベーションも上がり、職場が明るく活性化しているという。企業と地域との新たなつながりによる取り組みとして、今後も注目したい。

※特例子会社：事業主が障害者の雇用に特別配慮した子会社を設立し、定の要件を満たす場合に、特例としてその子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして障害者実雇用率を算定できる制度

株式会社ノーリツ

代表取締役社長兼代表執行役員

國井 総一郎

昭和26年3月設立

兵庫県神戸市中央区江戸町93番(栄光ビル)

<http://www.noritz.co.jp/>